

# 送水管理センターほか 伝送システム更新維持事業 総合評価にかかる評価項目及び評価基準

技術提案項目			求める提案内容	評価の項目(審査の視点)	配点 (加算点)	加算点の評価方法	様式等
No.	分類	提案項目					
1	伝送システム	構成	本事業で構築する伝送システムの全体構成について提案を求める。	<p>ア)に示す資料の提出を求めるとともに、イ)の観点から説明を求める。</p> <p>ア)①全体構成図 ②構成機器一覧表(数量、仕様及びその選定理由を明記) イ)拡張性・互換性 現在は、施設毎のミニグラフィックパネル(MGP)監視操作卓(監視操作装置)により施設の監視制御を行っている。将来、監視操作装置を集約し、どの装置からでも監視制御を可能とするシステム(メーカは限定しない)にした場合の接続構成と伝送システムに必要な改修内容。</p> <p>※情報伝送設備の改修内容で評価する。</p>	5	<p>A : 情報伝送設備のハードウェアの改修が不要な場合 (5点) B : 情報伝送設備のハードウェアの改修が必要な場合 (2.5点) C : 情報伝送設備の更新が必要な場合 (0点)</p>	様式別紙2-1
2		機能	伝送システムの応答速度を向上させる提案を求める。	<p>要求水準書の表7で示す伝送システムの応答速度について提案を求める。</p> <p>各種信号毎の応答速度とその計算書を提出すること。</p> <p>※応答時間の比の平均値(時間が短いほど優れている)で評価する。</p>	7	<p>各信号(接点信号、計測信号、積算信号、ON/OFF制御、設定値制御)の既設の応答時間との比の平均値(以下、「平均値」という。)を用いて、最上位者の平均値を1とした場合の、2位以下の数値の比に配点を乗じる方式とする。</p> <p>なお、応答時間の比の平均の算出は、小数第3位を切り上げとする。また、配点の算出は、小数第2位を切り捨てとする。</p> <p>A : 1位 (7点) B : 2位以下は1位との比率で配点 C : 既設の応答時間との比の平均値が1 (0点)</p>	様式別紙2-2
3	情報伝送設備	構成	情報伝送設備の安全設計について提案を求める。	<p>ア)に示す資料の提出を求めるとともに、イ)の観点から説明を求める。</p> <p>ア)計測及び制御等の信号の追加・削除に伴う誤設定に対する安全設計 イ)誤設定を確実に検出できる機能</p> <p>※実現性及び有効性のある機能の個数で評価する。</p>	7	<p>A : 3個以上 (7点) B : 2個 (3.5点) C : 1個 (0点)</p>	様式別紙2-3
4		機能	情報伝送設備のメンテナンス機能について提案を求める。	<p>計測及び制御等の信号の追加・削除の設定変更について提案を求める。</p> <p>※職員が容易に設定変更できる項目について評価する</p>	7	<p>A : 計測及び制御等の信号の追加・削除と工学値等のパラメータの設定が可能 (7点) B : 計測及び制御等の信号の追加・削除又は工学値等のパラメータの設定のどちらかが可能 (3.5点) C : 計測及び制御等の信号の追加・削除と工学値等のパラメータの設定のどちらも不可能 (0点)</p>	様式別紙2-4
5	設計・施工業務に関する事項	ネットワーク	ネットワークの機能について提案を求める。	<p>ア)に示す資料の提出を求めるとともに、イ)の観点から説明を求める。</p> <p>ア)全体構成図より詳細なネットワークの構成図 代表局として、布施局、村野局、郡家局とする。</p> <p>イ)ネットワークの通信異常発生時の経路再構築 ただし、提案のあった伝送システムの応答速度に支障を与えないこととする。</p> <p>※通信異常の発生から、経路再構築完了までに要する時間(秒)(時間が短いほど優れている)で評価する</p>	5	<p>最上位者の数値(経路再構築に要する時間)を1とした場合の、2位以下の数値の比に配点を乗じる方式とする。</p> <p>なお、配点の算出は、小数第2位を切り捨てとする。</p> <p>A : 1位 (5点) B : 2位以下は1位との比率で配点 C : 要求水準書で示す経路再構築に要する時間と同じ (0点)</p>	様式別紙2-5
6		無線回線の切替計画	全施設の無線回線の切替工程について提案を求める。	<p>ア)に示す資料の提出を求めるとともに、イ)の観点から説明を求める。</p> <p>ア)全施設の無線回線の切替計画 ・監視制御に影響する範囲が少ない切替 ・短時間での切替 イ)幹線系について無線設備の切替時の1ルートが停止する時間</p> <p>※無線設備の切替における通信の最大停止時間(時間)(時間が短いほど優れている)で評価する</p>	3.5	<p>A : 2時間未満 (3.5点) B : 2時間以上～4時間未満 (2.3点) C : 4時間以上～8時間未満 (1.2点) D : 8時間以上 (0点)</p>	様式別紙2-6
7	施工性	現場施工	施工計画について提案を求める。	<p>ア)に示す資料の提出を求めるとともに、イ)の観点から説明を求める。</p> <p>なお、代表局として、泉大津ポンプ場の事業対象全ての設備について提案の対象とする。</p> <p>ア)①配置平面図(本設、仮設) ②施工フロー図 ③工程表 イ)施工計画の利点 ・作業効率の良い施工手順 ・他設備の点検、補修作業の動線の確保等</p> <p>※実現性及び有効性のある利点の個数で評価する</p>	5	<p>A : 3個以上 (5点) B : 2個 (2.5点) C : 1個 (0点)</p>	様式別紙2-7
8		現場施工	施工計画について提案を求める。	<p>ア)に示す資料の提出を求めるとともに、イ)の観点から説明を求める。</p> <p>ア)品質管理計画 ・検査体制、確認方法 ・出来高管理 ・社内基準 イ)品質管理計画の利点 ・施工部署と設計部署との連携 ・施工の進捗状況の管理 ・施工内容の良否の確実な確認</p> <p>※実現性及び有効性のある利点の個数で評価する</p>	3	<p>A : 3個以上 (3点) B : 2個 (1.5点) C : 1個 (0点)</p>	様式別紙2-8

# 送水管理センターほか 伝送システム更新維持事業 総合評価にかかる評価項目及び評価基準

技術提案項目			求める提案内容	評価の項目(審査の視点)	配点 (加算点)	加算点の評価方法	様式等
No.	分類	提案項目					
9	維持管理業務に関する事項	維持管理計画	維持管理計画について提案を求める。	長期にわたる維持管理計画(予備品リストを含む)について提案を求める。 ※部品供給(代替部品含む)の可能な期間(期間が長いほど優れている)で評価する	4	A :15年以上 (4点) B :10年以上~15年未満 (2点) C :9年以上~10年未満 (0点)	様式 別紙2-9
10		故障時対応	システムの異常時において、迅速な復旧を目的とした実施体制と故障時の対応について提案を求める。	多重無線設備、有線通信設備、情報伝送設備の故障調査が可能な保守拠点について提案を求める。 ※各設備の保守拠点から、送水管理センターまでの直線距離(距離が短いほど優れている)で評価する	3	各設備の保守拠点から送水管理センターまでの距離の合計の平均値 なお、距離の合計の平均値は、小数第1位を切り上げとする。 A :50km以内 (3点) B :100km以内 (1.5点) C :上記以外 (0点)	様式 別紙2-10
11	施工実績	優良な工事成績点の有無	大阪広域水道企業団又は大阪府水道部発注(単価契約によるものを除く。)の電気通信工事で、平成27年4月1日から令和2年3月31日までの間において完成検査を受け、工事成績点85点以上、80点以上84点以下、75点以上79点以下(以下、「優良な工事成績点」という。)と判定された実績の有無。 ※優良な工事成績点の加算点の複数行使は認めない。  優良な工事成績点による加算点は、当該成績を取得した対象工事毎に令和2年度において1回に限り申請することができる。ただし、申請者が今回の入札で落札候補者にならなかった場合には、今回の入札における落札候補者決定日以降に公告される工事に限り、再度、当該対象工事にかかる優良な工事成績点を申請することができる。 なお、今回の入札公告において申請した優良な工事成績点を用いて既に落札候補者になっている場合又は本工事の入札公告日から落札候補者決定日までの間に他の工事に申請していることが判明した場合には、その判明した時期により次の①~③の措置を行う。①落札候補者となる迄に判明した場合は本技術審査資料を無効とする。②落札候補者になった時点から落札決定迄に判明した場合は失格とする。③落札決定以後に判明した場合において、次年度の工事に本項目の加算点の申請はできないものとする。(次順位者以降の者が落札候補者となった場合についても同様に扱う。) ただし、対象となる入札公告が企業団の積により取り止めとなった場合は、取り止めとなった入札公告において行った加算点申請は無かったものとし、①~③の措置は行わない。  業種が「電気通信工事」で、かつ、発注金額が2億円以上の工事であることとする。ただし、工事公告等により発注金額が確認できない場合は、契約金額による評価とする。  優良な工事成績点を取得した対象工事であっても、平成23年4月1日以降に大阪広域水道企業団から入札参加停止の措置を受けた場合で、かつ優良な工事成績点を取得した対象工事の検査日が当該入札参加停止措置の期間の末日以前となっているときは、優良な成績点による加算点を付与しない。	0.3	①大阪広域水道企業団又は大阪府水道部発注工事における優良な工事成績点 ・85点以上(過去5ヶ年度の取得成績) (0.3点) ②大阪広域水道企業団又は大阪府水道部発注工事における優良な工事成績点 ・80点以上84点以下(過去5ヶ年度の取得成績) (0.2点) ③大阪広域水道企業団又は大阪府水道部発注工事における優良な工事成績点 ・75点以上79点以下(過去5ヶ年度の取得成績) (0.1点)  ①~③の重複申請不可 最大0.3点	様式 別紙3-1	
12		工事成績点に係る減点	大阪広域水道企業団発注(単価契約によるものを除く。)の電気通信工事で、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの間において完成検査を受け、工事成績点70点未満と判定された実績の有無。	-1	大阪広域水道企業団発注工事における工事成績点の減点 ・70点未満(過去1ヶ年度の取得成績点)	申請の必要なし	
13	配置予定技術者(監理技術者)の担当工事成績	大阪府、又は大阪広域水道企業団発注(単価契約によるものを除く。)で、平成27年4月1日から令和2年3月31日までの間に完成、引渡し完了した電気通信工事において、監理技術者として従事し、80点以上、75点以上79点以下の成績を取得した技術者の配置予定の有無。(配置予定技術者を複数記載している場合は、全員が80点以上の工事成績を有する場合80点以上の評価、全員が75点以上の工事成績を有する場合75点以上79点以下の評価。)	0.2	①大阪府又は大阪広域水道企業団発注工事における配置予定技術者の担当工事成績点 ・80点以上(過去5ヶ年度の取得成績) (0.2点) ②大阪又は大阪広域水道企業団発注工事における配置予定技術者の担当工事成績点 ・75点以上79点未満(過去5ヶ年度の取得成績) (0.1点)  ①、②の重複申請不可 複数名記時は、全ての成績点が対象 最大0.2点	様式 別紙3-2		
			加算点合計	50			

## 技術提案書

事業名:送水管理センターほか伝送設備更新維持事業

管理番号

※管理番号は記入しないでください。

## 課題 1

## 伝送システムの構成に関する提案

本事業で構築する伝送システムの全体構成について提案を求める。

〔技術提案について〕

ア) に示す資料の提出を求めるとともに、イ) の観点から説明を求める。

- ア) ①全体構成図  
②構成機器一覧表 (数量、仕様及びその選定理由を明記)

イ) 拡張性・互換性

現在は、施設毎のミニグラフィックパネル (MGP) 監視操作卓 (監視操作装置) により施設の監視制御を行っている。将来、監視操作装置を集約し、どの装置からでも監視制御を可能とするシステム (メーカーは限定しない) にした場合の接続構成と伝送システムに必要な改修内容。

※情報伝送設備の改修内容で評価する。

## 【資料提出にあたっての留意事項】

将来のシステムは、ディスプレイ監視操作装置等を想定しており、通信方式は、標準化されたFL-Net等の通信方式とする。

&lt;全体構成図に関する事項&gt;

- ・事業対象範囲はすべて記載されていること。
- ・事業対象及び事業対象外設備が分かるように記載すること。
- ・冗長化システム (設備・装置) は冗長化構成が分かるように記載すること。全体構成図上に記載が困難な場合は別紙資料を添付すること。

&lt;機器一覧表に関する事項&gt;

- ・施設単位の数量が分かるように記載すること。
- ・装置単位の数量が分かるように記載すること。

&lt;拡張性・互換性に関する事項&gt;

- ・更新前、更新後の機器構成を記載すること。
- ・改修範囲及び改修内容が分かるように記載すること。
- ・改修が不要な場合は、不要である理由・根拠を記載すること。

(注) 各項目について、現場に即した多面的な検討を行い、具体的に記載すること。

なお、必要に応じて検討図等の添付も可とする。

また、入札参加者名を特定できる内容又は名称を記載しないこと。

## 技術提案書

事業名:送水管理センターほか伝送設備更新維持事業

管理番号

※管理番号は記入しないでください。

## 課題 2

## 伝送システムの機能に関する提案

伝送システムの応答速度を向上させる提案を求める。

## 〔技術提案について〕

要求水準書の表7で示す伝送システムの応答速度について提案を求める。

各種信号毎の応答速度とその計算書を提出すること。

※応答速度の比の平均値（時間が短いほど優れている）で評価する。

## 【資料提出にあたっての留意事項】

- ・要求水準に記載の応答速度は最も時間がかかる場合を想定したものである。
- ・応答速度について、通信・装置単位で要する時間（ミリ秒）を記載すること。  
なお、小数第1位を切り捨てとする。
- ・送水管理センターから富田林ポンプ場までの区間を対象に算出すること。
- ・無線回線で算出すること。

## 【既設の伝送システムの応答速度を例とした計算例】

- ・2者からの提案があった場合

## 【既設の伝送システムの応答速度を例とした計算例】

- ・2者からの提案があった場合
- ・比率算出は、少数第3位を切り上げ
- ・配点算出は、小数第2位を切り捨て

	既設（理論値）	提案A	比率
接点信号	710ms	800ms	0.85
計測信号	3210ms	2800ms	0.88
ON/OFF制御信号	1450ms	1000ms	0.69
設置値制御信号	3950ms	4000ms	1.02
			A : 0.86 最上位者=最高得点(7点)

	既設（理論値）	提案B	比率
接点信号	710ms	700ms	0.99
計測信号	3210ms	3100ms	0.97
ON/OFF制御信号	1450ms	1300ms	0.90
設置値制御信号	3950ms	3850ms	0.98
			B : 0.96 2位 = A/B * 7 = (8.2点)

## (参考) 既設の伝送システム応答速度

装置	上り信号	目標時間		下り信号	目標時間	
		接点信号	計測信号		ON/OFF制御	設置値制御
MGP卓※3	選択表示器		2500ms	-		
親局	SIO処理	40ms	40ms	SIO処理	90ms	90ms
	内部処理	120ms	120ms	内部処理	100ms	100ms
	通信処理	10ms	10ms	通信処理	300ms	300ms
回線	-	20ms	20ms	-	20ms	20ms
子局	通信処理	300ms	300ms	通信処理	10ms	10ms
	内部処理	120ms	120ms	内部処理	120ms	120ms
	信号処理	100ms	100ms	信号処理	100ms	100ms
	小計	710ms	3210ms	小計	740ms	740ms
	合計	710ms	3210ms	合計	1450ms※1	3950ms※2

※1 ON/OFF制御の合計は、接点信号の処理時間を含む

※2 設置値制御の合計は、計測信号の処理時間を含む

※3 MGP卓（ミニグラフィックパネル監視操作卓）

(注) 各項目について、現場に即した多面的な検討を行い、具体的に記載すること。

なお、必要に応じて検討図等の添付も可とする。

また、入札参加者名を特定できる内容又は名称を記載しないこと。

## 技術提案書

事業名:送水管理センターほか伝送設備更新維持事業

管理番号

※管理番号は記入しないでください。

課題 3

## 情報伝送設備の構成に関する提案

情報伝送設備の安全設計について提案を求める。

〔技術提案について〕

ア) に示す資料の提出を求めるとともに、イ) の観点から説明を求める。

ア) 計測及び制御等の信号の追加・削除に伴う誤設定に対する安全設計

イ) 誤設定を確実にかつ迅速に検出できる機能

※実現性及び有効性のある機能の個数で評価する。

## 【資料提出にあたっての留意事項】

&lt;計測及び制御等の信号の追加・削除に伴う誤設定に対する安全設計に関する事項&gt;

- ・影響を及ぼさないことが分かるように、情報伝送設備のハードウェアの構成やソフトウェアの機能について、図面等を用いて具体的に記載すること。

&lt;誤設定を確実にかつ迅速に検出できる機能に関する事項&gt;

- ・誤設定がないことを確実にかつ迅速に検証できる機能について、図面等を用いて具体的に記載すること。

(注) 各項目について、現場に即した多面的な検討を行い、具体的に記載すること。

なお、必要に応じて検討図等の添付も可とする。

また、入札参加者名を特定できる内容又は名称を記載しないこと。

## 技術提案書

事業名:送水管理センターほか伝送設備更新維持事業

管理番号

※管理番号は記入しないでください。

課題 4

## 情報伝送設備の機能に関する提案

情報伝送設備のメンテナンス機能について提案を求める。

〔技術提案について〕

計測及び制御等の信号の追加・削除の設定変更について提案を求める。

※職員が容易に設定変更できる項目について評価する

## 【資料提出にあたっての留意事項】

- ・計測及び制御等の信号の追加・削除、工学値等のパラメータの変更が可能な信号の種別を明記すること。
- ・容易な設定変更の手法について、計測及び制御等の信号の追加・削除、工学値等のパラメータ変更時の設定手順書を添付すること。
- ・計測及び制御等の信号の追加・削除、工学値等パラメータの設定変更に係る世代管理についての資料を添付すること。
- ・設定手順書は設定画面等を挿入し、設定手順がイメージできる資料とすること。
- ・職員が容易に設定変更を行う際には、メーカー立会いが不要であること。

(注) 各項目について、現場に即した多面的な検討を行い、具体的に記載すること。  
なお、必要に応じて検討図等の添付も可とする。  
また、入札参加者名を特定できる内容又は名称を記載しないこと。

## 技術提案書

事業名:送水管理センターほか伝送設備更新維持事業

管理番号

※管理番号は記入しないでください。

課題 5

## ネットワークの機能に関する提案

ネットワークの機能について提案を求める。

〔技術提案について〕

ア) に示す資料の提出を求めるとともに、イ) の観点から説明を求める。

ア) 全体構成図より詳細なネットワークの構成図  
代表局として、布施局、村野局、郡家局とする。イ) ネットワークの通信異常発生時の経路再構築  
ただし、提案のあった伝送システムの応答速度に支障を与えないこととする。

※通信異常の発生から、経路再構築完了までに要する時間(秒)(時間が短いほど優れている)で評価する

## 【資料提出にあたっての留意事項】

&lt;全体構成図より詳細なネットワークの構成図に関する事項&gt;

- ・全体ネットワーク構成図を作成のうえ、詳細構成図を添付すること。
- ・詳細構成図に記載するネットワーク機器は機器単位で表現し、冗長化構成が分かるようにすること。

&lt;ネットワークの障害時の経路再構築に関する事項&gt;

- ・布施局～生駒山局間で通信異常が発生した場合について、全施設の経路再構築完了までの時間(秒)を算出すること。
- なお、小数第2位を切り捨てとする。

(注) 各項目について、現場に即した多面的な検討を行い、具体的に記載すること。

なお、必要に応じて検討図等の添付も可とする。

また、入札参加者名を特定できる内容又は名称を記載しないこと。

## 技術提案書

事業名:送水管理センターほか伝送設備更新維持事業

管理番号

※管理番号は記入しないでください。

課題 6

## 無線設備切替計画に関する提案

全施設の無線回線の切替工程について提案を求める。

〔技術提案について〕

ア) に示す資料の提出を求めるとともに、イ) の観点から説明を求める。

- ア) 全施設の無線回線の切替計画
- ・ 監視制御に影響する範囲が少ない切替
  - ・ 短時間での切替

イ) 幹線系について無線設備の切替時の1ルートが停止する時間

※無線設備の切替における通信の最大停止時間(時間) (時間が短いほど優れている) で評価する

## 【資料提出にあたっての留意事項】

&lt;全施設の無線回線の切替工程に関する事項&gt;

- ・ 無線回線の切替順序について、無線回線構成図等を使用し、分かりやすく具体的に記載すること。

&lt;無線設備の切替で生じる通信の停止時間に関する事項&gt;

- ・ すべての無線区間について最大停止時間(分)を算出した結果を記載すること。  
なお、小数第1位を切り捨てとする。  
また、停止時間が最大となる作業についての作業要領書を添付すること。

(注) 各項目について、現場に即した多面的な検討を行い、具体的に記載すること。

なお、必要に応じて検討図等の添付も可とする。

また、入札参加者名を特定できる内容又は名称を記載しないこと。



## 技術提案書

事業名:送水管理センターほか伝送設備更新維持事業

管理番号

※管理番号は記入しないでください。

課題 7

## 現地施工に関する提案

施工計画について提案を求める。

〔技術提案について〕

ア) に示す資料の提出を求めるとともに、イ) の観点から説明を求める。  
なお、代表局として、泉大津ポンプ場の事業対象全ての設備について提案の対象とする。

- ア) ①配置平面図（本設、仮設）  
②施工フロー図  
③工程表

- イ) 施工計画の利点  
・作業効率の良い施工手順  
・他設備の点検、補修作業の動線の確保等

※実現性及び有効性のある利点の個数で評価する

## 【資料提出にあたっての留意事項】

&lt;配置平面図に関する事項&gt;

- ・機器の搬入出の動線が分かるように記載すること。
- ・保守スペース等が分かるように記載すること。
- ・事業対象の設備はすべて記載すること。

&lt;施工フロー図に関する事項&gt;

- ・点検、監視制御への影響範囲・影響期間を記載すること。

&lt;工程表に関する事項&gt;

- ・全ての設備の詳細工程を記載すること。

&lt;施工計画の利点&gt;

- ・効率、安全、周囲への影響等について、具体的に記載すること。

(注) 各項目について、現場に即した多面的な検討を行い、具体的に記載すること。

なお、必要に応じて検討図等の添付も可とする。

また、入札参加者名を特定できる内容又は名称を記載しないこと。

## 技 術 提 案 書

事業名:送水管理センターほか伝送設備更新維持事業

管理番号

※管理番号は記入しないでください。

課題 8

## 現地施工に関する提案

施工計画について提案を求める。

〔技術提案について〕

ア) に示す資料の提出を求めるとともに、イ) の観点から説明を求める。

- ア) 品質管理計画
  - ・ 検査体制、確認方法
  - ・ 出来高管理
  - ・ 社内基準
- イ) 品質管理計画の利点
  - ・ 施工部署と設計部署との連携
  - ・ 施工の進捗状況の管理等
  - ・ 施工内容の良否の確実な確認

※実現性及び有効性のある利点の個数で評価する

## 【資料提出にあたっての留意事項】

- ・ 品質管理計画に係る取り組みについて具体的に記載すること。

(注) 各項目について、現場に即した多面的な検討を行い、具体的に記載すること。  
なお、必要に応じて検討図等の添付も可とする。  
また、入札参加者名を特定できる内容又は名称を記載しないこと。

## 技 術 提 案 書

事業名:送水管理センターほか伝送設備更新維持事業

管理番号

※管理番号は記入しないでください。

課題 9

## 維持管理計画に関する提案

維持管理計画について提案を求める。

〔技術提案について〕

長期にわたる維持管理計画（予備品リストを含む）について提案を求める。

※部品供給（代替部品含む）の可能な期間（期間が長いほど優れている）で評価する

## 【資料提出にあたっての留意事項】

- ・保守部品、予備品の方針（品目、数量、保管方法）について記載すること。
- ・部品供給（代替部品含む）の可能な期間は装置単位で記載すること。
- ・維持管理計画書（点検及び補修の内容、周期）を添付すること。
- ・提案期間における年度毎の維持管理に要する概算費用を記載すること。

(注) 各項目について、現場に即した多面的な検討を行い、具体的に記載すること。

なお、必要に応じて検討図等の添付も可とする。

また、入札参加者名を特定できる内容又は名称を記載しないこと。

## 技術提案書

事業名:送水管理センターほか伝送設備更新維持事業

管理番号

※管理番号は記入しないでください。

課題 10

## 故障時対応に関する提案

システムの異常時において、迅速な復旧を目的とした実施体制と故障時の対応について提案を求める。

〔技術提案について〕

多重無線設備、有線通信設備、情報伝送設備の故障調査が可能な保守拠点について提案を求める。

※各設備の保守拠点から、送水管理センターまでの直線距離（距離が短いほど優れている）で評価する

【資料提出にあたっての留意事項】

- ・保守拠点とは、故障調査が可能な担当者が所属している拠点のことである。
- ・対象設備、組織名、保守拠点等を明記した維持管理体制表を添付すること。

(注) 各項目について、現場に即した多面的な検討を行い、具体的に記載すること。

なお、必要に応じて検討図等の添付も可とする。

また、入札参加者名を特定できる内容又は名称を記載しないこと。

## 技 術 審 査 資 料

事業名：送水管理センターほか 伝送システム更新維持事業

会社名：□□□□□□□□□□□□□□

(業者番号：□□□□□□□□□□)

管理番号	
------	--

※管理番号は記入しないでください。

ア) 優良な工事成績点の有無 (該当実績がない場合は記入不要)

工 事 名	
発注事務所	
検 査 日	平成 年 月 日
工事成績点	

大阪広域水道企業団又は大阪府水道部発注工事とする。

- ※ 1 優良な工事成績点による加算点の複数行使は認めない。
  
- ※ 2 優良な工事成績点による加算点は、当該成績を取得した対象工事毎に令和元年度において1回に限り申請することができる。ただし、申請者が今回の入札で落札候補者にならなかった場合には、今回の入札における落札候補者決定日以降に公告される工事に限り、再度、当該対象工事にかかる優良な工事成績点を申請することができる。
  
- ※ 3 今回の入札公告において申請した優良な工事成績点を用いて既に落札候補者になっている場合又は本工事の入札公告日から落札候補者決定日までの間に他の工事に申請していることが判明した場合には、その判明した時期により次の①～③の措置を行う。
  - ①落札候補者となる迄に判明した場合は本技術審査資料を無効とする。
  - ②落札候補者になった時点から落札決定迄に判明した場合は失格とする。
  - ③落札決定以後に判明した場合において、次年度の工事に本項目の加算点の申請はできないものとする。  
(次順位者以降の者が落札候補者となった場合についても同様に扱う。)
 ただし、対象となる入札公告が企業団の責により取り止めとなった場合は、取り止めとなった入札公告において行った加算点申請は無かったものとし、①～③の措置は行わない。
  
- ※ 4 優良な工事成績点を取得した対象工事であっても、平成23年4月1日以降に大阪広域水道企業団から入札参加停止の措置を受けた場合で、かつ優良な工事成績点を取得した対象工事の検査日が当該入札参加停止措置の期間の末日以前となっているときは、優良な工事成績点による加算点を付与しない。
  
- ※ 5 申請した工事の発注金額が判る以下の資料を提出すること。
  - ・ 工事公告またはその他予定価格が判る書類
  - ・ 検査合格書の写し
  
- ※ 6 加点の申請は任意である。本工事において加点を申請しない場合は、記入欄を空白で提出することで、加点を申請しないこととする。

イ) 工事成績点による減点 (申請は不要)

## 技 術 審 査 資 料

事業名：送水管理センターほか 伝送システム更新維持事業

会社名：□□□□□□□□□□□□□□□□  
 (業者番号：□□□□□□□□□□)

管理番号

※管理番号は記入しないでください。

ウ) 配置予定技術者の工事成績 (配置予定技術者の成績による加算を希望しない者は記入不要)

技術者区分		監理技術者
技術者氏名	フリガナ	
	漢字	
生年月日		
入社年月日		
監理技術者資格者証番号		
工事経験	工事名	
	工事成績	点
	発注機関	
	施工場所	
	発注金額 (予定価格・税込)	
	契約金額(税込)	
	工期	
	従事期間	
	役割	
	工事概要	
コリンズ番号		

技術者区分		監理技術者
技術者氏名	フリガナ	
	漢字	
生年月日		
入社年月日		
監理技術者資格者証番号		
工事経験	工事名	
	工事成績	点
	発注機関	
	施工場所	
	発注金額 (予定価格・税込)	
	契約金額(税込)	
	工期	
	従事期間	
	役割	
	工事概要	
コリンズ番号		

大阪府、又は大阪広域水道企業団発注工事における担当工事成績とする。

<注>

- ※7 配置予定技術者の複数名記載は可とする。その場合、すべての者が80点以上の担当工事实績を有する場合のみ加算点+0.2点の評価、すべての者が75点以上担当工事实績を有する場合のみ加算点+0.1点の評価する。  
なお、落札候補者に求める配置技術者調書には、上記に記載した技術者から選任すること。上記記載の技術者と異なる者を配置技術者調書に掲載した場合は、その落札候補者は失格とする。
- ※8 コリンスで確認できる場合は、資格者証番号欄に監理技術者資格者証の登録番号を記載するとともに、竣工登録した工事カルテ等の写しを提出すること。
- ※9 配置予定技術者が担当した工事検査合格書の写し及び工事公告またはその工事の発注金額が判る資料を提出すること。
- ※10 なお、契約当初に配置した配置技術者の途中交代は基本的に認められないが、配置技術者の死亡、傷病等、真にやむを得ない理由のほか、工場から現場へ移行する時点や受注者の責によらない理由による工事中止や工期延長があった場合においては、本工事で申請した配置技術者と同等の評価がなされる者を配置することにより途中交代を認めることとする。  
配置技術者の死亡、傷病等、真にやむを得ない理由以外で配置技術者を変更する場合で同等の評価がなされる者を配置できない場合は工事成績点を5点減点する。
- ※11 様式及び注意事項に沿って必要事項を記入することとし、記入漏れや提出漏れ等があった場合、配置予定技術者の成績に関する項目について評価しない。